

満洲伝道会／東亜伝道会の謎に迫る — 史料整理に向けた予備的考察

対面・オンライン両方の
ハイブリッド方式



戦前の日本キリスト教界による海外宣教団体「満洲伝道会／東亜伝道会」は、戦時下の良心と評価される一方で、政府や軍との関係も指摘されています。しかし、史料未整理のため、その実態は不明な点が多く残されています。

金城学院大学キリスト教文化研究所では「東亜伝道会史料整理研究プロジェクト」が始動し、本講演会では現時点での成果と今後の課題を広く共有します。どなたでも、ぜひご参加ください。

参加申込・参加費 **不要**

日時

2026年2月17日(火)
14時～16時半

対面会場

金城学院大学
エラ・ヒューストン記念礼拝堂

講演

金丸裕一（立命館大学経済学部教授）

「山下永幸（満洲伝道会現地代表）を追跡する
— 土佐、北見、大陸、奉天、別府、天草、渋谷」

渡辺祐子（東北学院大学国際学部教授）

「熱河伝道再考— 満洲伝道会と福井二郎」

川口葉子（明治学院大学キリスト教研究所客員研究員）

「東亜伝道会と純福音派の教師たち— 吉持久雄を中心に」

落合建仁（金城学院大学教授／キリスト教文化研究所所員）

「東亜伝道会関係史料（富士見町教会所蔵）について」

司会・コメンテーター

松谷嘩介 金城学院大学准教授／キリスト教文化研究所所員

（諸般の事情により、講演題や講演順等が変更になる場合があります。予めご了承ください。）



（クリスチャン新聞1976年10月17日号より）

オンライン (Zoom) 参加の方

Zoomアプリの「ミーティングに参加」から、下記のミーティングID・パスコードを入力してください。

ミーティングID 833 8188 1557

パスコード 582568

※Zoom利用が初めての方は、事前にZoomアプリをインストールしておくとスムーズです。